



市総務部防災安全2課長。避難所環境の改善など、災害対策における近年の諸課題に取り組む

高崎市消防団北部方面隊第10分団所属。ポンプ操法競技大会に出場するなど活躍中の女性消防団員

災害で市民の命が失われることがないよう、能登半島地震を教訓に様々な施策に着手

高崎北消防署特別救助隊長。能登半島地震では、緊急消防援助隊群馬県大隊派遣隊として元日から活動

㈱神保水道設備代表取締役。能登半島地震を受け、高崎水道工事業協同組合が実施した水道復旧活動に従事

元日の能登半島を襲った大規模な地震をはじめ、自然災害から命を守るには、私たち一人一人の事前の備えが重要です。今回は、能登半島地震被災地で支援活動を行った消防士や水道事業者、防災活動で活躍する女性をお迎えし、本市のこれからの災害対策や備えについて考えます。



もしもに備える本市の災害対策

能登半島地震被災地を見た 大規模なライフラインの被害

市長 一月に発生した能登半島地震は、元日ということもあり、日本中が大変驚きました。まずは、この地震災害に対して支援に向かわれた方からお話を伺います。緊急消防援助隊群馬県大隊として活動された丸岡さんは、元日から出動されたそうですね。突然の派遣で、ご自身も家族もびっくりしたんじゃないですか。

丸岡 私は東日本大震災などでも派遣された経験があったので、テレビで家が倒れる映像などを見て「これは行くことになるかな」と思いました。妻も理解してくれて送り出してくれました。

市長 消防の皆さんは、家庭があつてもすぐに切り替えて出動しなければならぬので、大変なことだと思えます。これまでの災害派遣と違う困難はありましたか。

丸岡 今回の地震は、道路の被害が大きかったことが印象的でした。第一次隊が活動した際は、大きな段差や崩落が至る所で生じていたため慎重に通行しなければならず、移動にとっても時間がかかりました。輪島市で大きな火災が発生していることが分かっていましたが、なかなか現場に到着できず、歯がゆい気持ちでした。

市長 それは大変でした。今回の災害では、ライフライン、特に水道や

究極のボランティアですね。本市では、能登半島地震や近年の災害を踏まえて、女性や要配慮者に対する支援や避難所対策を強化するため、防災安全2課を設置しました。今回の能登半島地震では教訓になったことが数多くあり、市も、いくつか対策を講じましたね。

田中 はい。能登半島の被災地では、しばらくの間、水道や下水道が使用できなかったため、避難所ではトイレを排水することができず排せつ物が溢れてしまつたなど、大変な状況の場所もあったそうです。トイレが普段どおりに使用できないと、避難者の健康被害につながります。このため、本市ではトイレトレーラーを2台配備することになりました。

神保 トイレトレーラーは設備が整っていて衛生的なので、能登の被災地でも多くの人が利用していました。他のトイレが空いていても、そちらに並ぶ人が多かった。女性や高齢の方にも喜ばれますね。

市長 スロープが付いて空間も広いので、車椅子の方にも利用しやすいトイレになっています。災害時でも、多くの人にとって利用しやすい環境を整えていきたいですね。他にも、水道復旧を速やかに行えるように、資機材を積載したトラックや、生活用水を供給する給水拠点を増やすための給水車なども配備します。この他に防災安全2課で現在取り組んでいる

下水道が被害を受けると大変だということを知られました。被災地には、高崎水道工事業協同組合からも、協同で水道の復旧支援に行ってくださいました。神保さんは社長という立場でありながら、自ら参加されたということで、本当にありがとうございました。

神保 別々の会社から集まったメンバーでの活動でしたが、一緒に行つた仲間たちが協力してくれたおかげで、順調に復旧作業を進めることができました。

市長 災害対策では、まず飲料水の確保を第一に行いますが、この他にも生活用水の供給が止まってしまうことで、トイレや風呂が使えない、洗濯ができないなど、生活に大きな影響が出るということを改めて認識させら



高崎水道工事業協同組合による水道復旧作業

れましたね。
神保 そうですね。水が通るようになって、水道と排水はセットなので、両方がそろっていないと風呂やトイレなどの大量の水を流すことができないんです。このため、被災地ではなかなか元のとおり水をを使用することができない状況でしたね。

災害対策に女性の視点を

市長 続いて、女性の消防団員である鳥羽さんにお話を伺います。女性の消防団員はまだまだ少ない状況ですが、実際に入団して、周りの人の反応はいかがですか。

鳥羽 「男性の中に女性が入ると大変でしょう」と言われることがありますが、私はそのような環境も苦労とは思っていません。体力にも自信があるんです。

市長 火災現場にも行きましたか。

鳥羽 これまで二度火災現場に出動しました。最初の火災現場では筒先を持って消火活動に当たりましたが、消火活動が終わった後、他の団員の方に「顔真っ黒だよ」と言われて、気がつくまで煤で顔が真っ黒になっていました。放水する際の水圧の強さや、煙を吸ってしまう恐れがあるなど、大変さを知りましたが、いい経験になりました。

市長 消防団の皆さんは、普段は仕事をしながらの活動となるので、本当に頑張ってもらっているなと思います。

ことはありますか。

田中 女性や妊産婦、乳幼児などに必要な物資の備蓄を進めることや、避難所の環境改善のために、女性目線の避難所運営マニュアルの改訂などに取り組んでいます。

夏の大雨に備えて

市長 これから夏に向けて、大雨に対する備えが大切な季節です。特に新町地域は、千年に一度の大雨による洪水で全域が水没してしまうと示されています。これに対応するため、新町方面隊の各詰所などに手漕ぎのボートを用意して、いざという時にはそれを使用して避難できるようにしま

災害時の備蓄品にプラス！

女性のためのお役立ちアイテム

問/防災安全2課 ☎027-321-1171

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために食料や水、携帯トイレなどを普段から準備しておきましょう。

必要になる物は人それぞれ違います。各自で自分に合った備えをしてください。特に女性は、以下の用品も備えておきましょう。

- 下着
 - 生理用品（生理1周期分）
 - おりものシート
 - スキンケア用品
- 持ち運べるようにまとめておく避難する時に便利です。



対談の様子を動画でご覧いただけます



す。消防団の皆さんには、火災の時だけでなく、水防活動にも力を発揮していただく場面があるのでよろしくお願ひします。
鳥羽 はい。頑張ります。
市長 地震や水害、土砂災害と、自然災害は季節を選びません。本市では幸い大規模な災害は起きていませんが、いつ大規模な災害が起きても対応できるように、協力して頑張ってください。本日はどうもありがとうございました。

一同 ありがとうございます。